



泉 千春さん (安養寺・61歳)

2014年から治田東学区の主任児童委員を委嘱され、現在は健康推進員、青少年補導委員などを兼務。放課後子ども教室「チャレンジはるひがっこ」や栗中サポーターズクラブ、登下校時に地域住民らで結成される「スクールガード」でも精力的に活動。2017年、こども食堂「はるひがキッズカフェ」を開設。地域ボランティアの協力のもと、現在は月に1回、第3金曜日に開催。

主任児童委員や健康推進員のほか、治田東学区の放課後子ども教室や子ども食堂の運営など地域や子どもたちのために、多方面で活躍されている泉さんに、活動の内容や思いについてお話を伺いました。

■地域での活動を始めたきっかけは？

子どものスポーツ少年団の保護者会長や自治会の子どもの役が最初の入口でした。子どもの手が離れてからは、「コミセン治田東支援グループわいわい」から声をかけていただき、放課後子ども教室「チャレンジはるひがっこ」で活動するうちに、色々な人との関わりが増え、誘われるがままにありがたく委員の職を引き受けていたら、いつの間にか複数の委員や地域活動の役を兼務していました。

■活動の魅力や継続の原動力は？

活動をとおして、これまでお世話になった人たちが地域に恩返ししたいという思いが原点にあります。放課後子ども教室「はるひがっこ」は本当に楽しくて、毎回子どもたちから元気をもらっています。

■「はるひがキッズカフェ」とは？

治田東学区に子ども食堂がなかったため、もし近所であれば手伝ってみたいと思っていました。待っていても仕方がないので、仲間とともに奮起し、4年前に開設しました。こども食堂というと、貧困家庭の支援が想像されがちですが、友達と一緒に食べたり遊んだり、誰もが集える地域の交流の場として、食材や場所を提供してくれる人たちや多くのボランティアに支えられながら開催

しています。最近では、ティクアウトで食事を提供するなど感染症防止対策を取る工夫をしています。地域の安心できる人達と、みんなが困むあたたいごはんや遊びを通して、子どもたちが「ほっ」とできる場所になればいいなと思っています。

■今後の抱負は？

さまざまな世代がつながり、地域ぐるみで子どもを見守り育てる社会を実現していくために、この活動をもっと多くの人が関わってもらい、困っている人を放っておかない地域づくりに取り組んでいきたいです。また、子どもだけでなく、保護者同士の交流が深まるような企画や親子企画も考えていきたいです。今後も地域とのつながりや絆、子どもの成長を大切にしながら、地域のために、未来の子どもたちのために、活動をしたいと思っています。



▲はるひがキッズカフェで楽しく食事をしている子どもたち(12月18日)

～ 地域社会に貢献する商工会 ～

栗東市商工会では、事業者の課題に対し、親身に寄り添いアドバイスを行っています。各種補助金申請、販路開拓、融資斡旋など、なんでもご相談ください。

商工会は法施行60周年を迎えました

**栗東市商工会**

商工会館 <http://www.rittosci.com>  
 〒520-3047 栗東市手原三丁目1-25  
 TEL077-552-0661 FAX077-553-5263

ウイングプラザ(栗東駅前支所)  
 〒520-3031 栗東市権二丁目4-5  
 TEL077-552-3066 FAX077-552-1146

火災からくしをまもる

**OKUYAMA**

各種消火器・消防ポンプ・消防ホース・消火栓器具  
 避難器具・消防団服・消防設備保守点検

**(株)奥山ポンプ商会** 栗東営業所

栗東市目川1076番地 TEL: 077-552-1119

有料広告掲載のお申込み・お問合せは秘書広報課 ☎551-0641 FAX553-1280へ(掲載料金:本文最終ページ:1枠30,000円) 掲載内容のお問合せは、直接広告主へ。内容に関する一切の責任は広告主に帰属し、市が推奨するものではありません。